

備中とと道・駅からトレイル プチガイド

③美星・三山→成羽 (14.5 km 4:00)

吉備高原の高み、そこを穿って流れる深い谷には
太古の化石、備中神楽、様々な祠、社といった
備中の真髄が詰まっている。。
じっくり、ゆっくり谷の逍遙を楽しもう。

コースタイム (参考値)

井原線矢掛駅下り

着 7:35 or 10:08

駅前北辰バス発 7:40 or 10:20

美星青空市 (産直プラザ)

着 8:11 or 10:51

→①三山八幡 (0:10)

→②梨の木峠下三叉路(1:00)

→③神楽公園 (1:30)

→④成羽美術館前 (1:30)

計 4時間10分

JR高梁向けバス 成羽発 16:00
高梁着 16:21



③美星・三山→成羽 (14.5 km 4:00)

備中とと道トレイルガイドブックより抜粋.実際に歩く折りには同書を参照下さい.説明表題のNOはガイドブック地図中のNOです

3-3 三山金定（かねさだ）



三山八幡神社の十字路をまっすぐ北へ向うと、右手に昭和40年代ごろまで繁栄していた旧三山商店街が見えてくる。裏手のゆるやかな坂を登ってゆくと美星の中心地区の吉備高原固有の穏やかな眺めが広がる。左手には古墳時代後期の金平古墳がある。

3-5 あずきもち入口の道標（標高400m）



龍王山麓の明るい林道を道なりに進むとあずきもち入口に至る。入口の道標には「右ハなりわ道、左ハきの山え」と刻字されている。この辺りは昔から「山の神様」の場所として伝えられており、地域の人々が交通安全や人々の健康を祈願してきた。ここから旧小田郡・川上郡の境となる林道が約700mにわたって続く。

3-7 洗場の牛供養碑



あずきもちを抜けると県道笠岡美星線に出る。左へやや下って、T字路で右へ曲がり洗場口へ向う。ほどなく左手路傍に牛供養碑が現れる。「大正七年三月十五日、右宇戸谷、左中杉」と刻字されている。そこから里道を登り、竹やぶを越え、住宅の間を抜けて登りつめると再び車道に合流する（標高310m）。その先の峠状の十字路を北東へと下ると県道倉敷成羽線に至る。

3-9 影安のお堂と願成寺



洗場から東北へ下ると吉備高原の谷底を走る県道35号線に出る。ほどなく右手に四国霊場29番札所（土佐国分寺）の影安のお堂が現れる。お堂の右手下には遍路道を示す指型の石の道標がある。左手前方には大きな弘法大師の石像のある願成寺が見える。



3-12 王子橋



3-19 本丁神楽ロード



今でも盛んに舞われる備中神楽はこの地の御崎神社で宮司をし、ここ本村に住んでいた西林国橋（1768-1828）によって創始された。道の東側に古い木製の案内板があり、坂を登ると大きな墓がある。斜面の向うには国橋が暮らしていた藤井家の家並が見える。とと道はここから県道を外れて西に下り、隈前神社から日名川沿いに北へと向っていた。途中、廃屋化した庄屋屋敷等がある。

美星三山からの15kmの道を歩き終えると本丁通りの両側にずらりと並んだ備中神楽登場者達の16体のフィギュアが迎えてくれる。